

2021年7月12日

[出展規定] 改定箇所のご案内

一般社団法人日本包装機械工業会
〈JAPAN PACK 2022〉運営事務局

『出展のご案内』記載事項のうち、以下項目において改定を行いました。改定対象は以下の2ヶ所です。

① 7ページ [出展スケジュール]

該当箇所：左側中央付近

原文　　：7月30日(金) 出展申込締切

改定後　：7月30日(金) 第1期出展申込み期間締切
 9月30日(木) 第2期出展申込み期間締切

② 13～14ページ [出展規定]

該当箇所：1 - ① 出展申込受付期間

 1 - ② 出展申込方法および出展料の支払い

 1 - ④ 出展申込の取消

 1 - ⑤ 小間割調査票

 3 - ⑥ 損害責任

 3 - ⑦ 開催の変更・中止

詳細は巻末に追加した『JAPAN PACK 2022 [出展規定]：条文改定新旧対照表』ならびに『JAPAN PACK 2022 出展申込みスケジュール：改定図』の両資料をご参照ください。

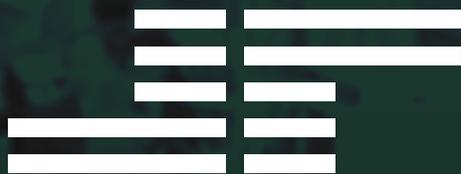
上記①ならびに②の改定は2021年7月12日(月)より発効といたします。
ご確認いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【本件に関するお問合せ先】

一般社団法人日本包装機械工業会 <JAPAN PACK 2022>運営事務局
所在地：東京都中央区新川 2-5-6 包装機械会館 3階 (〒104-0033)
電 話：03-6222-2277 / E-mail：japanpack@jpmma.or.jp
担 当：大岩・佐藤・井上・阿部

出展の
ご案内

ともにつくる 未来の包程式



JAPAN PACK 2022

2022.2.15 TUE - 18 FRI

東京ビッグサイト [西・南展示棟]

JAPAN PACK 2022 [日本包装産業展]

主催：一般社団法人日本包装機械工業会

開催にあたって

一般社団法人日本包装機械工業会は、2022年2月15日(火)から2月18日(金)までの4日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)におきまして、日本包装産業展「JAPAN PACK 2022」を開催いたします。

JAPAN PACK(ジャパンパック)は、包装業界および関連業界における国内外の最新鋭機器・技術・サービスとそのユーザー・バイヤーの皆様が一堂に会する、2年に一度の大型商談展示会です。加工から計量・充填・包装・印刷・印字・検査・梱包など、製造工程全体のトレンドやトピックスを一貫してご覧いただける展示規模と品質を有し、ご出展・ご来場の皆様をはじめ、広く関係各位よりご好評を頂戴しております。国内外464社・団体の皆様より2,292小間のご協力を得て開催させていただきました前回展(2019年10月開催)におきましても、社会構造の変化に伴い包装を取り巻く課題はより一層多岐にわたり、当展への関心度の高まりを改めて実感いたしました。

さて、JAPAN PACK 2022のテーマは『ともにつくる 未来の包程式』です。今、サプライチェーンにおける種々の課題や、持続可能な社会の実現へ向けて、包装が何をできるのか、問われております。JAPAN PACKは、食品、医薬品、化粧品、日用品、工業製品等の製造者様や流通・小売業界の皆様、その先の消費者の皆様、包装に携わる一人ひとりの皆様へ、包装の役割が世の中に欠かせないものであると宣言し、発信いたします。

会場内におきましては、国内外より包装機械を中心に生産ラインと包装ライフサイクルに係る多種多様な最新技術の展示公開を通じて、製造・流通・小売分野において喫緊の課題である人手不足解消、製造・物流コスト低減、省エネ・省資源化、消費期限延長、安全安心・衛生性向上、さらにはウィズコロナ、アフターコロナに伴うニューノーマル対応等の様々な課題の解決策を「包程式」として提案し、商品力向上や販売力促進等の価値を創出いたします。さらには特別講演会や専門セミナーなど多彩な特別企画の併催や、広報活動にも積極的に取り組み、商談に直接的に結びつくビジネスマッチングを推進いたします。

“包む”にまつわる総合展として、JAPAN PACK 2022は、新規顧客獲得や海外市場開拓の機会創出など、ステークホルダーの皆様へ向けた効果的なプロモーションを実現する最高の舞台として、大いにご活用いただけるものと確信しております。ぜひともJAPAN PACK 2022へのご出展をお願い申し上げます。



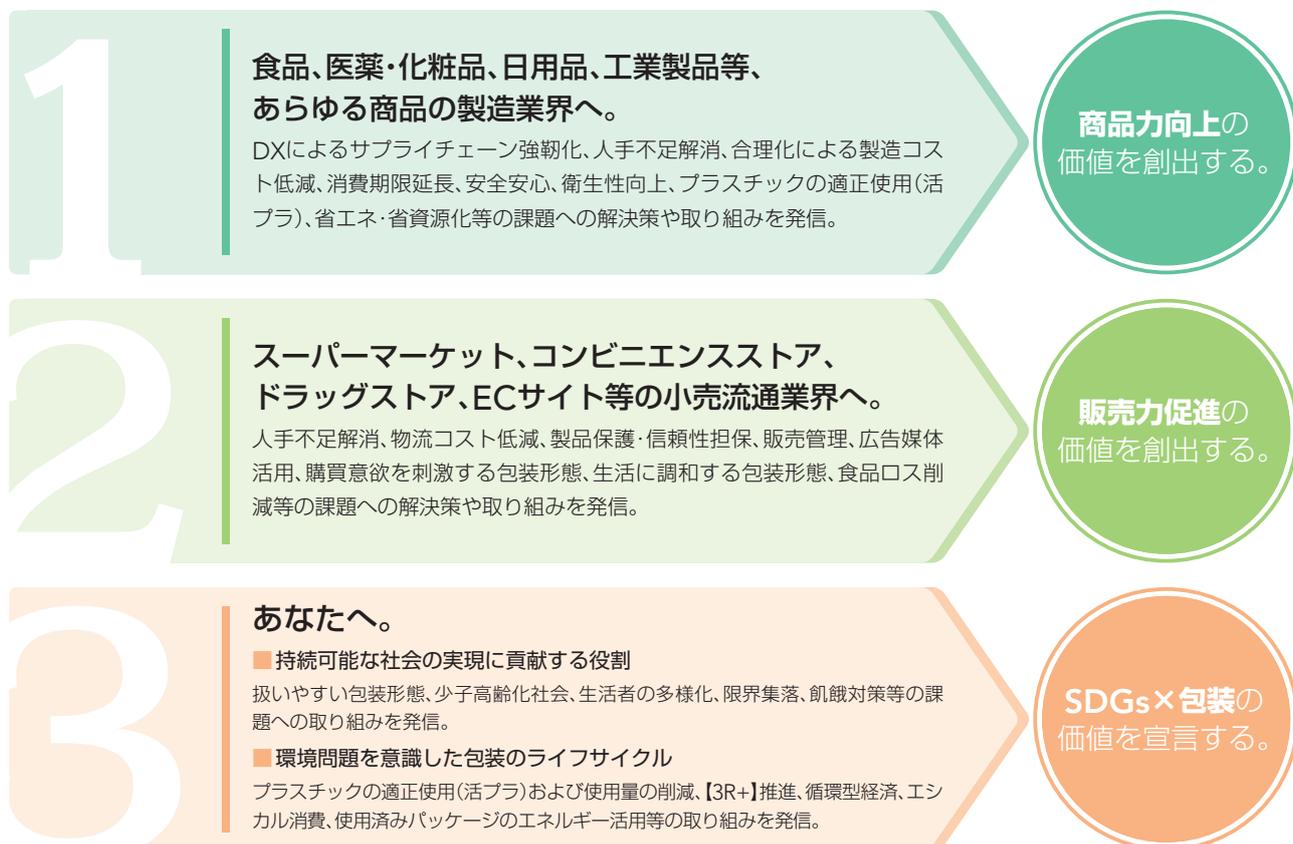
一般社団法人日本包装機械工業会
会長 **大森 利夫**

開催概要

- 名称** JAPAN PACK 2022 [日本包装産業展]
Japan Packaging & Manufacturing Technology Show 2022
- 会期** 2022年2月15日(火) - 18日(金) 10:00 - 17:00
- 会場** 東京ビッグサイト 西・南展示棟 [〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1]
- 開催目的** 国内外の包装機械、包装資材、包装材料加工機械、食品加工機械、医薬・化粧品製造機器、物流機器および関連機器の新製品を展示公開し、産業の合理化と国民生活の向上に寄与するとともに貿易の振興を図り、業界の発展に資することを目的とする
- 主催** 一般社団法人日本包装機械工業会
- 後援** 経済産業省／東京都／日本貿易振興機構(ジェトロ)／日本商工会議所／東京商工会議所／日本包装技術協会／東京ビッグサイト／その他関係官公庁・公共団体等(予定)
- アクセス** ●東京駅◀(JR山手線:約3分)▶新橋駅◀(ゆりかもめ:約22分)▶東京ビッグサイト駅◀(下車徒歩約3分)▶東京ビッグサイト
●品川駅◀(JR山手線:約2分)▶大崎駅◀(りんかい線:約13分)▶国際展示場駅◀(下車徒歩約7分)▶東京ビッグサイト
●横浜駅東口◀(京急バス:約55分)▶東京ビッグサイト
●羽田空港◀(リムジンバス:約25分)▶東京ビッグサイト

開催テーマ

われわれの生活に欠かすことのできない包装および関連産業の最新機器・技術を展示公開、そして体験。
バリューチェーンで全体最適を実現する「包程式」が、
あらゆる生活必需品の生産から流通、消費、廃棄にわたる多種多様な課題を解決する。
見せつけよう、包装のチカラを。



※3R+……JAPAN PACKは3R(Reduce・Reuse・Recycle)に加えてReplace(代替)・Renewable(再生可能)といった視点で地球環境の課題解決を推進します。

展示テーマ

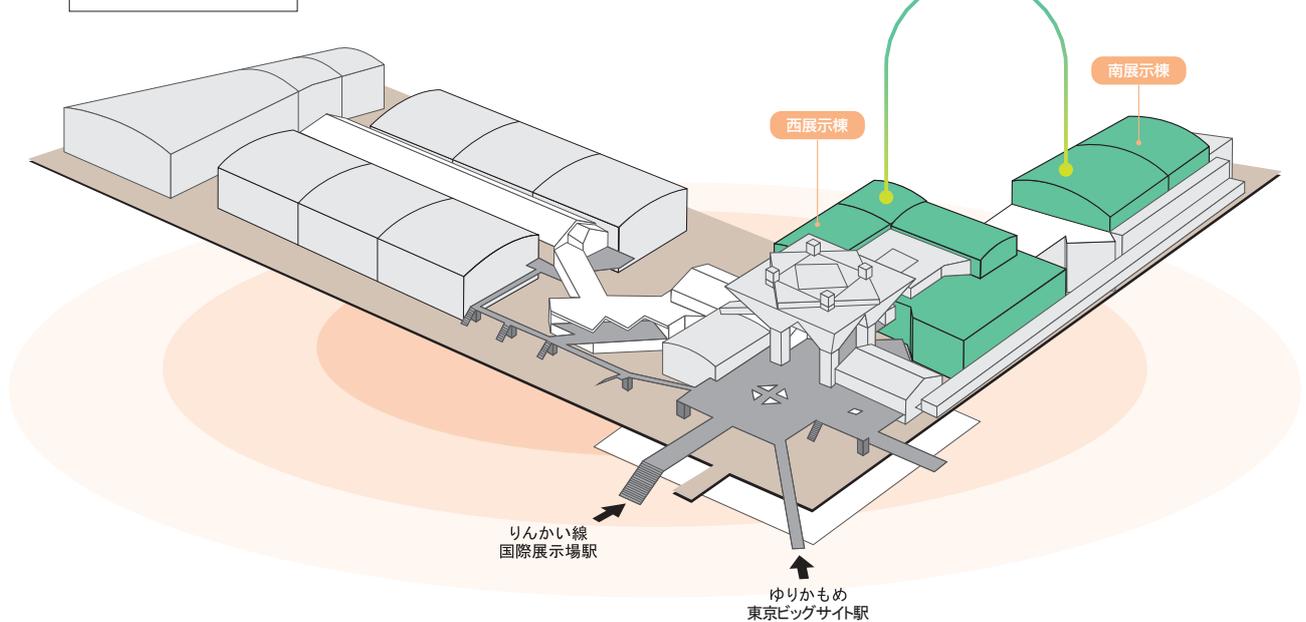
ターゲット層の課題を解決に導く包装の“新しい価値”を展示公開する場として、
JAPAN PACK 2022を開催いたします。

新しい価値

包装に新たな付加価値を創出する製品・技術・サービス

生産性の向上	サプライチェーンマネジメント全体最適化、DXによるサプライチェーン強靱化、労働力不足解消や働き方改革に対応する省人化・省力化、リモート生産体制ニーズ、包材ロス削減・合理化による製造コスト低減、物流現場における技術革新等、コストカット・生産性向上に寄与する製品・技術・サービス
地球環境への課題	プラスチックの適正使用(活プラ)および使用量の削減、新素材・代替素材の開発、【3R+】推進、循環型経済への対応、エシカル消費への対応、使用済みパッケージのエネルギー活用等、環境における課題を解決する製品・技術・サービス ※3R+…JAPAN PACKは3R(Reduce・Reuse・Recycle)に加えてReplace(代替)・Renewable(再生可能)といった視点で地球環境の課題解決を推進します。
食糧に関する問題	食品ロス削減や食のロングライフ化、食料品の輸送・保存方式の改善等、食糧問題への課題解決に導く製品・技術・サービス
安全安心の実現	流通における商品の品質保持・保護・信頼性担保、偽造品流出の防止、誤飲誤食の防止、服薬管理、品質保証、HACCPへの対応等、人々の安全安心を支える製品・技術・サービス
市場の拡大	異分野連携の加速、緊急事態におけるBCP対応、リモートワーク・シェアリングエコノミーへの対応、EC市場の拡大、日本製品の輸出、生産拠点の整備、企業連携の促進、輸送コストの低減、インバウンド消費等、包装および関連産業の市場拡大に対応した製品・技術・サービス

会場図



出展募集対象

第1類 包装機械／荷造機械

包装用計量機／計数機、充填機、製袋充填包装機（給袋充填包装機も含む）、容器成形充電包装機、ラベル貼機、印字機、小箱詰機（カートナー）、上包機、シール機、収縮包装機、真空包装機／ガス置換包装機、梱包機（バンド掛機／ひも掛機）、外装荷造機械及び関連設備

第2類 包装資材・容器

紙／板紙製品、プラスチック製品、金属製品、木／布／ガラス、緩衝材、その他の包装資材

第3類 印刷機械・関連機器 *New!*／包材加工機械

オフセット印刷、グラビア印刷、フレキシ印刷、スクリーン印刷、オンデマンド印刷（デジタル印刷）、インキ、その他の印刷機・関連機器、製袋機、緩衝材付き製袋機、スリッター／リワインダー、紙／板紙加工機械、緩衝材製造器、プラスチック加工機械、その他の包装材料加工機械

第4類 ロボット／機械部品・要素技術／包装関連機械／検査機・検出機

ハンドリングロボット（選別／供給／整列／集積）、協働型ロボット、その他の包装用ロボット、空圧・油圧機器、工業用刃物（ナイフ・カッター）、エアシャフト、ヒーター、モーター／変速機／間欠装置、歯車／チェーン／ベルト、ポンプ／タンク／配管、センサー／タイマー／温度調節器、電気・電子制御機器、コントローラ／サーボモーター／タッチパネル、工具、その他のコンポーネント、整列機、自動供給装置（被包装品、トレイ）、小袋／カード投入機、バッファ装置、接着剤／ホットメルトアプリケーション、バーコードリーダー、容器洗浄機／洗びん機、静電気除去機、ストロー／スパウト装着機、打栓機、キャッパー／キャップシーラー、搬送装置（コンベヤ類）、その他の包装関連機器、重量選別器、金属検出機、ピンホール検査機、異物検査機、X線異物検出機、印字検査機、色彩選別機、形状選別機／外観検査機、画像処理装置、その他の検査機・検出機

第5類 食品加工機械・関連機器

精米麦機械、製粉機械、製めん機械、製パン・製菓機械、生菓子（最中、もち、団子）製造機械、せんべい製造機械、牛乳加工／乳製品製造機械、肉類加工用機械、水産物加工用機械、飲料製造用機械、製茶機械、厨房機器、鮮度管理・品質保持、その他の食品加工機械

第6類 医薬品・化粧品・日用品製造機械・関連機器

混合器、造粒機、コーティング機、打錠機、分包機、攪拌機、混練機、能書折り機、ロンド詰機、アンブル熔封機、パップ剤塗工機、オムツ・ティッシュ加工機、マスク製造機、ナプキン製造加工機、その他の医薬・化粧品関連機械

第7類 環境対策機械・関連機器 *New!*

圧縮梱包機（ベラー）、粉碎機、生ごみ処理機、廃棄食品分離機／破袋機、廃棄物選別器、廃棄物リサイクル／発泡スチロール減容機、洗浄機・掃除機・集塵機、焼却炉・焼却施設、純水装置・飲料製造用水、その他の環境関連機器

第8類 衛生管理機器・資材 *New!*

衛生資材、衛生管理機器、その他の衛生管理機器・資材

第9類 物流機械・関連機器／店舗設備機械 *New!*

運搬車、コンテナ、コンベヤ、仕分け／ピッキングシステム、パレット、情報機器、バーコード・二次元コード作成機／読み取り装置、その他の流通関連機器・サービス、冷蔵ショーケースなど

第10類 デジタル技術 *New!*／ソフトウェア *New!*

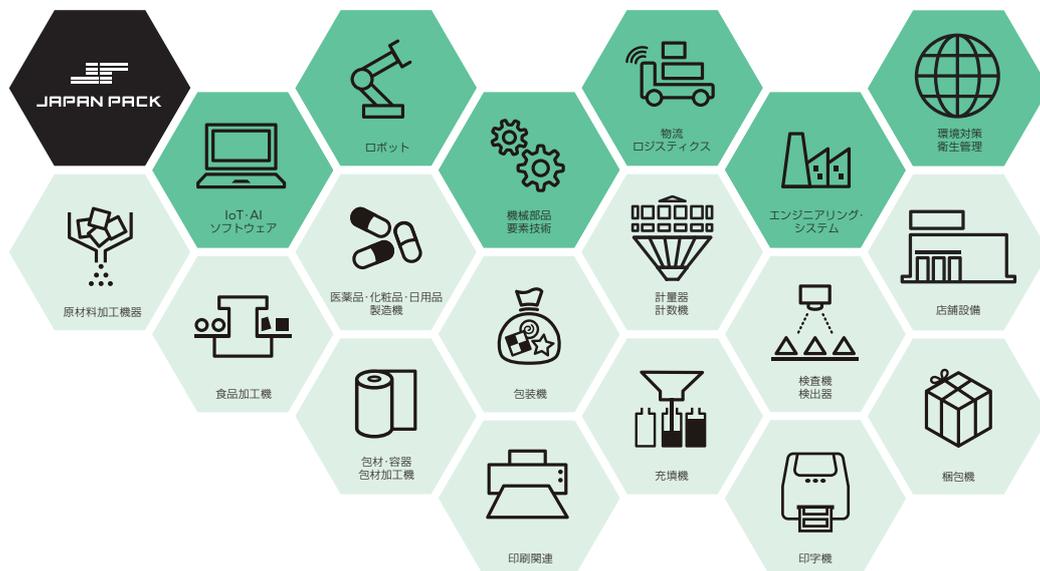
IoT、AI、その他のデジタル技術、IoTソリューション、AIソリューション、その他のソフトウェア

第11類 エンジニアリング・システム

工場建設／プラント設計施工、クリーンルーム、HACCP対応システム、GMP対応システム、情報管理システム、その他のプラントエンジニアリング

第12類 団体／プレス／研究・教育機関／人材サポート *New!*／その他

団体、プレス、研究機関、教育機関、人材サポート、規格・法令、書籍、その他



出展者サポートサービス

ビジネス機会の創出を多角的にサポート

見込み客の誘致や特別招待者へのアプローチ、さらに会期中にはプレゼンテーション、アワード等の様々なコンテンツを設け、出展者の皆様にひとつでも多くのビジネス機会を創出いただけるよう、一貫してサポートします。

開催前から、出展者の来場誘致をサポートします

ポスター・案内状による出展PR

見込み客のご来場促進のため、出展者には規定枚数のポスターと案内状を配布。なお、展示会への来場動機の調査では「出展者からのご招待」が大きな割合を占めています。関係者へのご案内にぜひご利用ください。

バーチャル展示会

【新企画】

会期前からバーチャル展示会(JAPAN PACK Online 2022)を開設予定です。本施策を活用することで、会社案内や製品資料のみならず、オンラインセミナー(ウェビナー)やオンライン商談サービスと連携した価値訴求が可能です。申込方法や出展料など詳細情報は、後日公開する別途当該資料をご覧ください。

公式サイトに専用ページを設置

公式サイトに各出展者の専用ページを設置。お客様となる各業界へ向け、会社概要や出展製品などの情報を出展者自らが入力し、随時更新・公開できます。

ビジネスマッチングサービス

ビジネスパートナー候補をユーザー検索で発掘。出展者と来場者が会期前からメッセージをやり取りし展示会でのアポイントメントを事前に取得できます。

会期中は、多彩なサービスによりビジネス機会の創出をサポートします

包装相談コーナー

来場者が抱く課題や疑問に包装のプロが直接お答えするコーナー。出展者から提供された最新技術情報と、主催者独自のデータベースを使用して、来場者のニーズに合致する出展者をご紹介しますことにより、ビジネスマッチングを促進します。

“非接触”商談支援サービス

【新提案】

出展者・来場者双方が安心安全に商談を行えるよう、アプリやウェブを活用した“非接触”での商談を支援する機能を開発中です。デジタル技術を活用した接客により、スピーディな来場者情報取得など付加価値もご提供が可能です。

テーマゾーン

様々な産業・ユーザー業界と繋がるJAPAN PACKならではの企画展示コーナー(パビリオン)を計画。前回展でもご好評いただいた集客力のある企画で、参画出展者ブースへ来場者を誘導いたします。

主催者企画

前回展ではコンダクターが来場者を案内する「会場巡回ツアー」や出展製品の表彰制度など、多数の主催者企画で出展者ブースへお客様を誘導いたしました。今回も皆様の商談機会増に繋がる企画をご用意いたします。

出展者セミナー

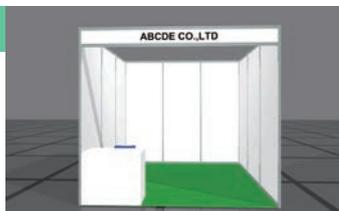
主催者が用意するプレゼンテーション会場で、多数の来場者を一堂に会して、新製品・技術などを発表することができます。展示ブースと連動したPRにご活用ください。

スポンサーシップ

会場内の広告をはじめ、会場案内図広告、ウェブバナー広告など、注目が集まる多様なスポンサーシップをご用意。事前告知や会期中の来場者へのご案内、企業としてのブランディングなどに幅広くご活用ください。

スタンダードブース

出展準備業務の負担軽減やコスト削減を支援するため、基礎装飾工事業者によるスタンダードブースやオプション備品をご用意しております。



オプション例



来場誘致プロモーション

サプライチェーンの課題解決や持続可能な社会実現へ、包装の価値を積極PR

食品・医薬品・化粧品・日用品・工業製品などの包装機械ユーザーや小売・流通業界、更には消費者意識へ。幅広い業界・業種の方々のご来場で商談機会を提供できるよう、様々なツールを駆使した来場誘致プロモーションを積極的に展開します。

ダイレクトメール

主催者が保有する4万名以上のリストを用いて、国内外のユーザー業界や関係官公庁および公共団体などに広く開催告知を実施。潜在顧客へのアプローチに注力します。

広告・パブリシティ

主要な産業／業界紙誌を中心として広告を掲載し、広く一般に向けたPRを展開。また、記者発表会やプレスリリースなどによるパブリシティ活動を実施し、各種プレス／メディアを通じて目的意識を持った来場者の誘致を促進します。

ウェブサイト・アプリ等でのウェブマーケティング

出展者情報やセミナー情報などを随時公開するとともに、主催者の他事業と連携した情報発信で当展来場を促進します。また、ウェブ広告や動画の活用も計画中です。

国内外展示会等でのPR

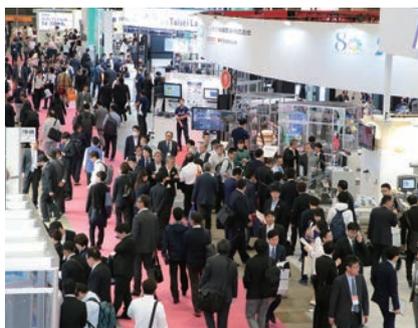
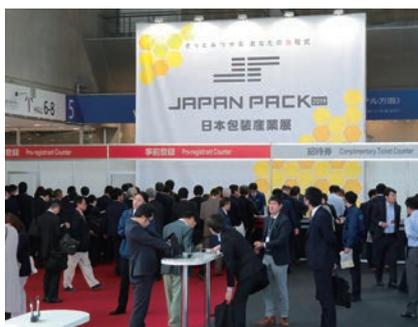
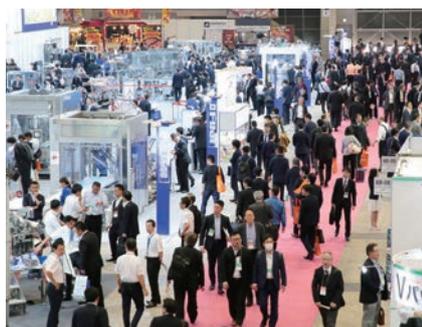
様々な関連展示会との連携により、関係資料の配布やポスター掲出などを実施し、事前PRを推進します。国外でも積極的にアピールし、日本の製造関連技術を求めて来場する海外企業関係者も多い現状です。

プレスルーム

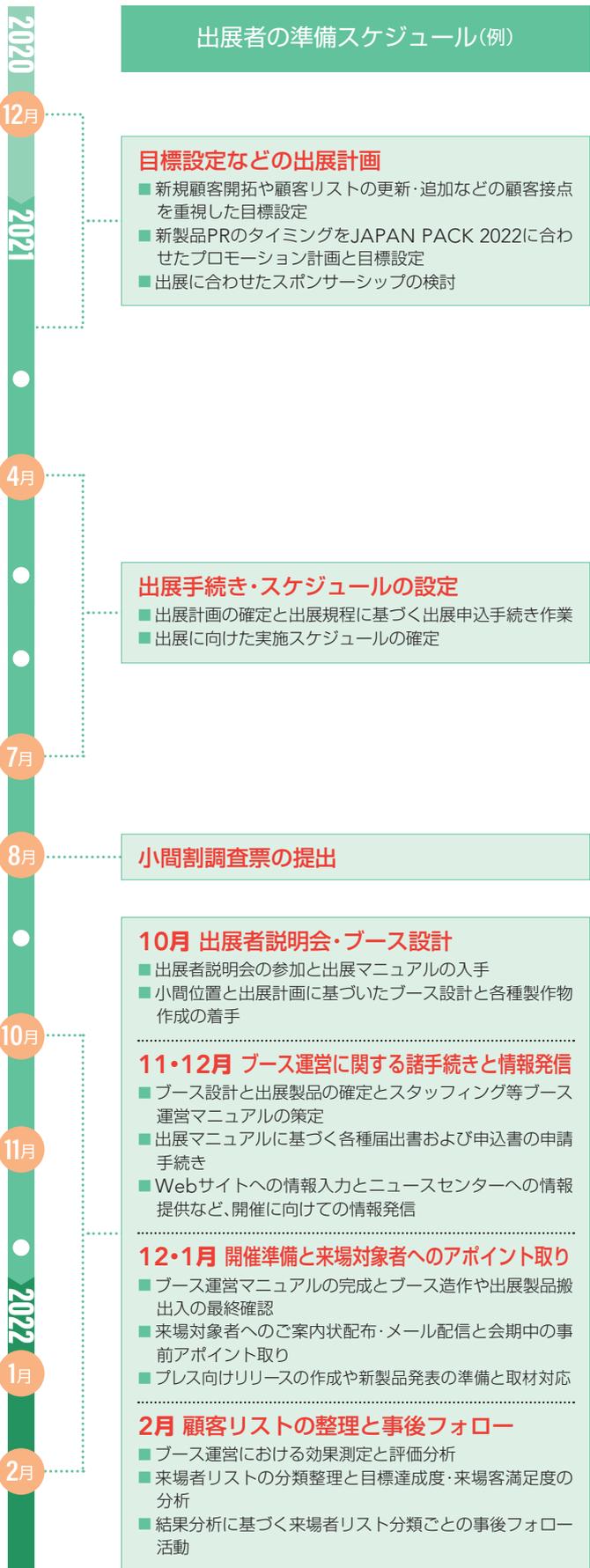
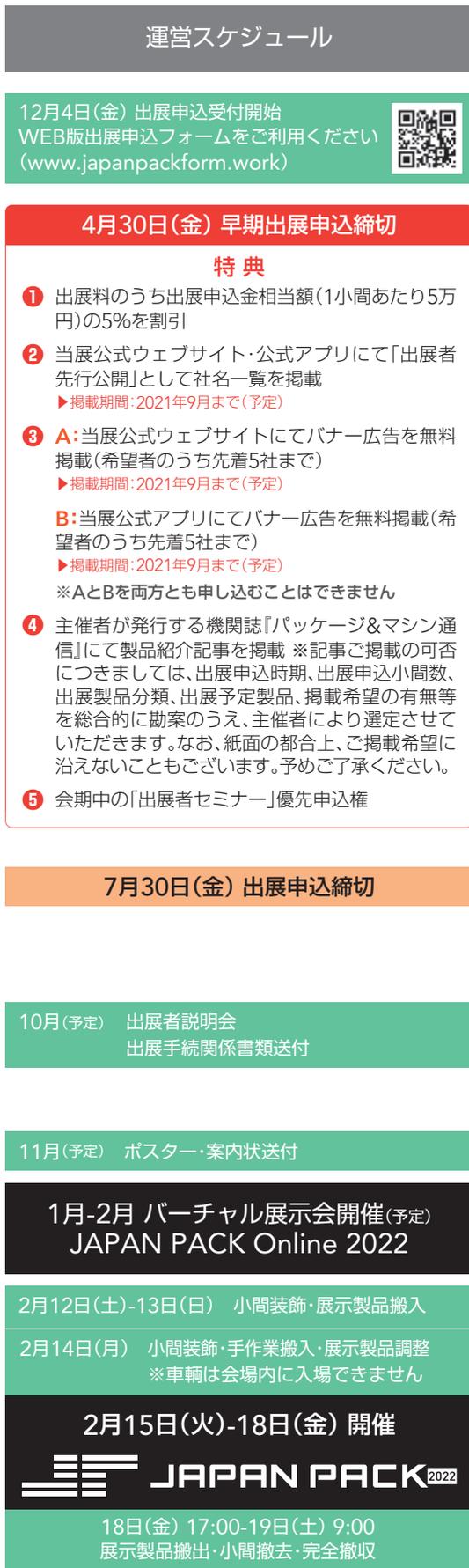
展示会場に取材で訪れるプレス／メディアに対して専用ルームを用意。関係者に記事をまとめていただく環境を設備するとともに、最新情報の提供や各種取材アレンジなどを通じて、会期中の情報発信を促進します。

セミナー・ツアー

サプライチェーンの課題解決や持続可能な社会の実現に対する包装の価値を、展示のみならず多彩な講演会・セミナーで発信します。前回展では58講演で4,500名の方に受講していただきました。また、テーマに応じ来場者を送客する会場巡回ツアーも計画中です。



出展スケジュール



新常態社会におけるJAPAN PACK 2022開催でお届けする価値

リアル空間での展示会開催を通して、JAPAN PACK 2022では以下の価値を提供します。

- 五感を刺激する実物機械・製品との出会い。
 - 対面コミュニケーションでしか得られない情報や新しい関係との出会い。
 - 業界の全体像および異分野連携を体験的に提供／享受する。
 - 各種報道を通じた網羅的情報収集により産業界の考えが可視化される。
- ● 展示会＝出展者と来場者が“生の声”で繋がる場所

JAPAN PACK 2022における新型コロナウイルス感染症対策

JAPAN PACK 2022は、『新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(新型コロナウイルス感染症対策本部)』ならびに『展示会等における新型コロナウイルス感染防止のための対応指針(東京ビッグサイト)』および『展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドライン(日本展示会協会)』に沿って、今後の感染状況などに適宜対応し、状況に合わせた感染防止対策を講じながら開催に向けて準備を進めてまいります。詳細については、その時点の感染状況を踏まえ、出展者説明会やウェブサイトを通じてご案内します。開催にあたりましては、出展者および来場者を含めた関係者の皆様の安全を最優先に考え、主催者は、以下の取り組みを行うとともに、出展者の皆様へは下記ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■主催者の主な取り組み

会場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 「3密」回避を意識したレイアウトプランを心掛けます。 ● 受付など待機列が予想される場所には間隔目印を設置します。 ● 受付などには飛沫・接触感染防止のため、アクリル板などを設置またはそれに準ずる策を講じます。 ● 主催者が展示ホール内に設置する休憩所・ラウンジなどには、必要に応じて消毒液を設置します。 ● 展示ホール内空気循環のため、搬入出口を運営・安全面で支障がない範囲で定期的に開放します。
入館時チェック	<ul style="list-style-type: none"> ● 主催者が業務委託するスタッフ全員に対し、毎朝の検温と体調確認を徹底します。 ● 展示ホールに入館する全関係者にマスクの着用、手洗い、手指消毒を徹底します。 ● 会場にサーモグラフィ等検温機器を手配し、来場者・出展者などを入館時に検温します。 ● 来場誘致の際はマスク着用と手指消毒の義務や検温を行うことを告知します。 ● 感染疑い者発生時のマニュアルを作成し、関係機関と連携のうえ適切に対応します。 ● 入館時の検温で37.5度以上の発熱がある方や体調不良をお申し出になった方の入館をお断りします。 ● 来場者の事前登録およびセルフチェックインなどにより会場での対面接触を削減します。 ● 「東京版新型コロナ見守りサービス」「厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ」を周知・推奨します。
入館状況管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 来場者には「来場事前登録システム」への登録を必須とし、予定入館者数の把握に努めます。 ● 入館者数を常時確認し、混雑の際は入館制限を行います。 ● 「3密」環境防止について、必要に応じ館内アナウンスを繰り返し行います。
セミナー開催	<ul style="list-style-type: none"> ● 聴講者には「聴講事前登録システム」への登録を必須とし、適切な会場規模・環境を用意します。 ● 登壇者の演台へ飛沫防止シールド設置や、聴講最前列との飛沫到達距離(2m程度)確保などを講じます。 ● 聴講者間距離は場所の密閉度を考慮し適切なソーシャル・ディスタンスを保ちます。 ● セミナーは、会議室のドアの開放やオープンスペースでの実施、適切な換気などを行い密閉を避けます。 ● 登壇者が使用するマイクやパソコン、ポインターなどの備品は毎回消毒を行います。 ● 感染防止のため、聴講者には自らが使用する筆記用具、水などは各自用意するよう事前に周知します。 ● 感染リスクのある併催イベント(開会式・レセプションパーティーなど)は必要であれば自粛します。

■出展者および協力会社へのごお願い

ブース設計および ブース運営時の対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 出展ブースをデザインする際は、「3密」の回避や現場施工負担軽減に配慮しデザインを計画してください。 ● 装飾規定の詳細は出展者説明会で配布する「出展マニュアル」にてご確認ください。 ● 来場者と対面での商談を行う場合には、双方のマスクの着用を徹底し、必要に応じて飛沫防止や換気のための設備準備をお願いいたします。 ● ブース内の共有物品やドアノブなど、人の手が触れる箇所は適宜消毒してください。 ● 出展物などは頻繁な消毒または来場者が触れにくいような工夫をお願いいたします。 ● マスクやフェイスシールド、手袋などはプラスチック製袋などに入れた上で必ず密閉し、清掃・廃棄物処理会社に処分を依頼してください。
顧客への 周知および対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 顧客ご招待の際は、事前登録が必須であること、会場での検温があること、マスク着用が必須であることなど注意事項の周知をお願いいたします。 ● 商談は極力事前に日時調整し、後日のオンライン会議実施などで長時間に及ばない対策もご検討ください。 ● 商談や説明時なども含め大声での会話や呼び込みはお控えください。 ● 接触感染防止のために、商品パンフレットや会社案内などの資料はデジタル化をご検討ください。
スタッフの安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ● 施工・搬入期間から会期、撤去までの当展期間中、会場に入館する全スタッフのリストをご作成のうえ事前に提出をお願いいたします。提出方法は出展者説明会にてご案内いたします。 ● 勤務予定のスタッフ全員に対し、毎朝検温と体調確認の徹底をお願いいたします。 ● スタッフの防護具(マスク・フェイスシールドなど)やブースで使用する消毒液のご用意をお願いいたします。 ● スタッフ全員のマスク着用と適切な頻度での手洗い、手指消毒を徹底してください。 ● 外出や商談後にスタッフの手指消毒の徹底をお願いいたします。 ● 搬出の際、施工関係者は出展者の搬出が終わるまで入館しないようにしてください。

上記対策は本誌制作時点の情報をもとに策定しております。今後、感染状況の変化や政府等関係機関のガイドラインに応じて随時更新する旨を予めご了承ください。

JAPAN PACK 2019 開催結果報告

名 称	JAPAN PACK 2019(日本包装産業展) Japan Packaging & Manufacturing Technology Show 2019
テ ー マ	きっとみつかる、あなたの包程式
会 期	2019年10月29日(火)-11月1日(金) 10:00-17:00
会 場	幕張メッセ 国際展示場2~8ホール・国際会議場
展示規模	出展者数464 社・団体(11ヶ国・地域)／出展小間数2,292 小間

来場登録者数

日にち	天 候	来場登録者数(名)		
		国 内	海 外	合 計
10月29日(火)	雨	6,503	568	7,071
10月30日(水)	晴れ	8,211	398	8,609
10月31日(木)	晴れ	7,844	241	8,085
11月1日(金)	晴れ	9,671	103	9,774
合 計		32,229	1,310	33,539

※来場登録者数は、会場で受付登録をされた方の実数となります。複数日程で来場された方の重複カウントはされません。

併催行事(一部抜粋)

- セミナー・イベント
- JPC受賞製品展示コーナー
- JAPAN PACK AWARDS 2019 表彰式・パネル展示
- 包装相談ビレッジ
- ライン展示コーナー／IoTパネル展示コーナー
- 就活サポートコーナー
- CLOMA展示コーナー
- 包装のプロと巡る会場ミニツアー

開催風景



JAPAN PACK 2019(日本包装産業展)紹介映像 <https://youtu.be/XfQ9z4F20h0>



■ 出展者の声

開発のヒントを得られる場(包装機械メーカー様)

包装機械メーカーである当社は、包装関連機器の展示会としては国内最大の規模と集客となる《JAPAN PACK》へ永年に亘り出展を継続しています。来場されるお客様の関心や抱えておられる課題も様々ですが、本展示会は他の展示会に比べ、幅広い業種のお客様が来場され、出展機械のPRもさることながらお客様からお聞かせ頂く情報から次の開発テーマに繋がるヒントを頂ける貴重な場だと捉えています。

また、豊富な企画展示を活用した他団体・関連分野との新たな連携構築により+αの魅力を発信されており、非常に意義のある出展・集客が期待できる展示会だと考えています。

幅広い業界関係者との出会い(フィルムメーカー様)

当社は印刷業界、特にオフセット印刷向けのビジネスや、紙器パッケージ製作を元々得意としております。軟包装に力を入れていくにあたり、業界への知見やお客様とのコミュニケーションを求めてJAPAN PACKに出展しました。異業種の展示会に初めて参加することで当初は不安でしたが、食品業界など、日頃お付き合いのない様々な業界・業種のお客様と接することができました。多くの方に取組みを紹介できる「出展者プレゼンテーションセミナー」も非常に良い機会でした。

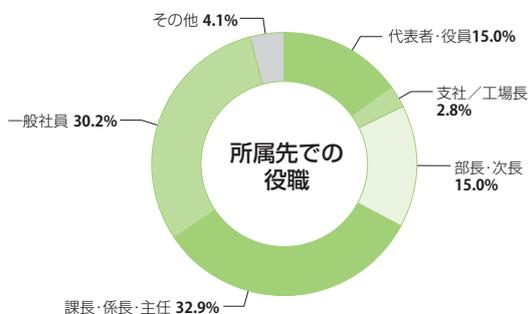
出展したことで新鮮な出会いがあり、我々が全く知らなかったお話を聞くことができました。是非、次回も参加したいと考えております。

主催者企画で販促支援(ロボットシステムインテグレータ様)

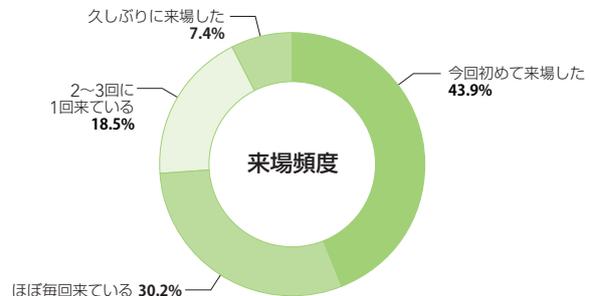
日頃はロボット関係の展示会に出展しておりますが、お客様により深く提案するための機会として業界向けの展示会であるJAPAN PACKに出展いたしました。お付き合いしているお客様の工場を見ていると包装の分野は人の手で行われている工程が多くあると感じ、医薬品や化粧品などを対象に、包装に特化したロボットによる自動化システムを開発してきました。今回は建材メーカー様向けに開発したロボットシステムを出展したのですが、食品や医薬品関係など、我々が想定した以上のお客様から引き合いをいただきました。主催者企画の表彰制度でも賞をいただき、販促の後押しをしていただけたと感じております。今後も包装市場に取組んでいきたいと考えております。

■ 来場者の声

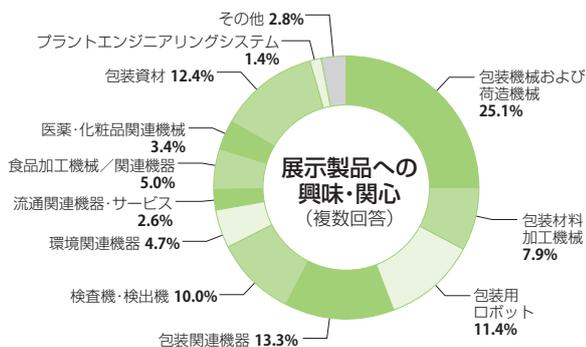
来場者の7割近くが「課長級以上」の役職。
スムーズに商談しやすい場として機能しています。



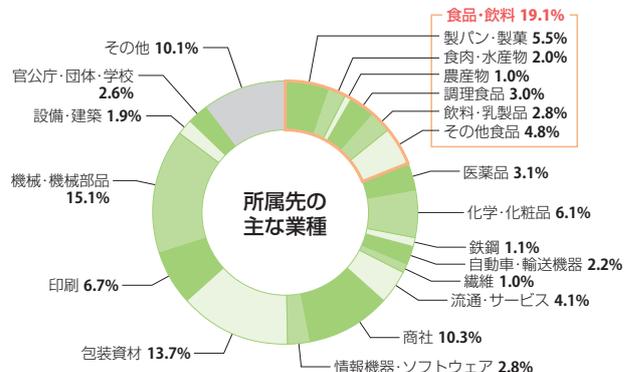
来場者の4割強が「今回初めて来場した」と回答。
新規開拓、ビジネス飛躍の可能性が広がる環境です。



包装だけに限らず、製造ライン全体に係る
様々な興味対象の方が来場しています。



食品・医薬品・化粧品などの3品業界をはじめ、
幅広い業種の来場が特長です。



■ 前回(JAPAN PACK 2019)出展者一覧

ア	エスコグラフィックス(株)	／エフコン(株)	ストロバックジャパン(株)
(株)アールエフ	／エックスライト社	(株)光文堂	静甲(株)
愛星パック(株)	／AVT事業部	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度ポリテクセンター	成光産業(株)
青木工業刃物(株)	エスパック(株)	(株)コーレンス	精電舎電子工業(株)
／(株)型久堂	エヌエス技研(株)	／マイクロレーザーテクノロジー	積水フーラー(株)
(株)浅沼商会	NPC CO., LTD.	(株)国際商事	ゼネラル(株)
／(株)日本ファステックイメージング	エプソン販売(株)	／徳信誠包装有限公司	ゼネラルパッカー(株)
(株)朝日化成	(株)エマー自動車	(株)小坂研究所	SERAC JAPAN(株)
(株)旭金属	(株)エムエスティ	コトヒラ工業(株)	ソトウ(株)
アサヒグリーン(株)	(株)エルコム	(株)此花	／(有)バックユーワ
(株)旭プレジション	オーエスマシナリー(株)	(株)コバード	(株)ソルトン
アジアハイテックス(株)	(株)オーエム機械	(株)小花製作所	／アイコテック
アネスト岩田コンプレッサ(株)	大紀商事(株)	(有)小林バック工業	タ
(株)アボックス	(株)大阪真空機器製作所	(株)コマック	(株)第一包装機製作所
(株)アフィット	(株)大阪タイコー	(株)コマツ製作所	大英技研(株)
アマノ(株)	オーシャンテクノロジー(株)	コムネット(株)	／ニチモウ(株)
アムンゼン(株)	(株)大谷商会	サ	ダイオーエンジニアリング(株)
アルバックテクノ(株)	(株)オートニクス	サイエナジー(株)	(株)ダイケン
アルマーク(株)	大森機械工業(株)	蔵王産業(株)	大浩研熱(株)
AMBAFLEX ASIA PACIFIC BV	(株)オクイ	佐藤工業(株)	大成ラミック(株)
アンリツインフィビス(株)	(株)オリエンタルコマース	(株)サム技研Ⅱ	大創(株)
飯島電子工業(株)	オリヒロ(株)	(株)サムソン	大洋精機(株)
イーデーエム(株)	カ	三光機械(株)	太陽誘電ケミカルテクノロジー(株)
EB PACKAGING SDN BHD	(株)カジワラ	(株)サンステーションシステムズ	ダイワアドテック(株)
イグス(株)	春日電機(株)	(株)サンユー印刷	大和紙工(株)
(株)イコール	川治電機工業(株)	(株)GSIクレオス プラスチック販売部	(株)高砂
(株)石崎電機製作所	(株)川島製作所	／大三紙化工業(株)	高千穂精機(株)
(株)イシダ	関東混合機工業(株)	CKD(株)	多賀電気(株)
／日新電子工業(株)	(株)カントー	シービーエム(株)	(株)タカハシ包装センター
(株)イチネンMTM	(株)キーエンス	／DKSHジャパン(株)	(株)WTM
(株)イチネンケミカルズ	キーフェル(株)	シール栄登(株)	田村機械工業(株)
伊藤忠マシンテクノス(株)	紀州技研工業(株)	シール工業(株)	(独)中小企業基盤整備機構
伊東電機(株)	キムラシール(株)	シールドエアージャパン(同)	中部機械刃物(株)
伊藤敏(株)	キヤノン電子(株)	／オートメイトドパッケージングシステムズ・ジャパン(同)	／福田刃物(株)
茨木精機(株)	キョウエイ(株)	志賀包装機(株)	(一社)中部包装食品機械工業会
(株)イマオコーポレーション	協栄プリント技研(株)	シグノード(株)	(株)塚谷刃物製作所
(株)イメージ・マジック	共同印刷(株)	(株)システムスクエア	THK(株)
岩谷マテリアル(株)	(株)京都製作所	(株)資生堂	(株)テイスティ
(株)インターナショナル三興	／レンゴー(株)	(株)品川工業所	(株)テクノリサーチ
インテック(株)	／川崎重工業(株)	澁谷工業(株)	デュケインジャパン(株)
(株)インテック	／双日マシナリー(株)	／シブヤパッケージングシステム(株)	(株)デュプロ
／(株)アフレアー	／(株)イシダ	／シブヤマシナリー(株)	(株)寺岡精工
(株)印南製作所	京町産業車輛(株)	／シブヤ精機(株)	テラダ・トレーディング(株)
INFORMA MARKETS	(株)共和	(株)ジャパン・パッケージ	テンチ産業(株)
(株)ウシル	共和化成(株)	シュマルツ(株)	(株)東海化学工業所
(株)WINHOOP	協和電機(株)	城南自動機(株)	東京計器(株)
(株)ウエストワン	(株)キョーワ	(株)松栄産業	東京工科大学
(株)ウチダテクノ	近畿刃物工業(株)	JONG IL INDUSTRIAL COMPANY	(株)東京自動機械製作所
梅田真空包装(株)	GUALA CLOSURES JAPAN(株)	(株)シンク・ラボラトリー	／東京施設工業(株)
(株)エー・アンド・デイ	クイック・ロック・ジャパン(株)	(株)新盛インダストリーズ	東京食品機械(株)
ACS(株)	グラコ(株)	新日本ケミカル・オーナメント工業(株)	(株)東伸
エーシンバック工業(株)	(株)グリーンプラス	(株)シンメイ	東ソー(株)
エース工業(株)	(株)クリエイト日報	(株)進洋	東洋機械(株)
A-Safe(株)	グローリー(株)	信和工業(株)	(株)東陽機械製作所
(株)エーティーエー	(株)クロスリンク・パシフィック	(株)SCREENクリエイティブコミュニケーションズ	東洋自動機(株)
(株)エーディエフ	KULODAY PLASTOMERS PVT LTD	(有)スコットプランニング	(株)トーヨー
／Cookai(株)	(株)ケーター製作所	(株)鈴木製作所	(株)トーワテクノ
(株)エクシール	ケーユーシステム(株)	スズキマシナリーエンジニアリング(株)	トキワ工業(株)
(株)エクト	COAD CO., LTD	(株)スズキマリン	トタニ技研工業(株)
(株)エコノス・ジャパン	(株)光伸舎	鈴茂器工(株)	(株)トッパンインフォメディア
SMC(株)	(公財)高知県産業振興センター	ストラパック(株)	(株)トバック

(株)トライテック	(株)パピルスカンパニー	／(株)ミキタ	EXTEND GREAT INTERNATIONAL CORP
トレンドサイン(株)	(株)PALTEK	(株)三橋製作所	天鷹設備製造有限公司
ナ	ピアブ・ジャパン(株)	美津和産業(株)	立華集團－立華文創有限公司
(株)中條製缶	(株)ピーアンドエフ	(株)ミマキエンジニアリング	江蘇晶華新材料科技有限公司
長野吉田工業(株)	ピーエス(株)	(株)ミューチュアル	珠海田川紙業有限公司
中村産業(株)	(株)PSS	武藤工業(株)	／珠海英斯派包装材料有限公司
(株)ナカヤマ	(株)ピーエヌテクノロジ	(株)メカナイズ	精密實業有限公司
ナビタスビジョン(株)	(株)日立産機システム	(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン	FINEST INDUSTRIAL CO., LTD.
鍋屋バイテック会社	日立造船(株)	(株)モキ製作所	台湾包装協会
(株)なんつね	／(株)イーズ	森川フードマシン(株)	廈門百強科技有限公司
軟包装衛生協議会	ファナック(株)	(株)モリコー	廈門齊宸進出口貿易有限公司
西部機械(株)	(株)フクダ	(株)モリシタ	廈門金銳奇工貿有限公司
(株)西村機械製作所	(株)フクチ産業	ヤ	廈門子恒環保科技有限公司
ニッカ電測(株)	福見産業(株)	(株)安川電機	浙江格睿包装新材料有限公司
(株)日刊工業新聞社	富士インパルス(株)	藪内産業(株)	無錫市太平洋新材料股份有限公司
(株)ニッサンキコー	(株)フジキカイ	山崎産業(株)	泰州海達膠印包裝有限公司
日清エンジニアリング(株)	富士機械(株)	山田機械工業(株)	立盛機械股份有限公司
ニッタ(株)	(株)フジ機工	大和製衡(株)	佛山市禅城区宝盛源包装印刷廠
日本機械商事(株)	不二精機(株)	山中産業(株)	廈門恒忠商貿有限公司
日本トムソン(株)	(株)不二WPC	(株)ヤマノ	江蘇雙星彩塑新材料股份有限公司
日本ハワード(株)	／(株)サーフテクノロジ	／(株)コバヤシ	廣東安本智能機器有限公司
日本包装機械(株)	富士特殊紙業(株)	ヤマハファインテック(株)	廈門逸信彩印有限公司
／イーパー	富士フィルム グローバル グラフィックシステムズ(株)	(株)ユーキ	兆豐機械股份有限公司
日本ポリスター(株)	／富士フィルム(株)	ユニオンケミカー(株)	威海聯橋國際合作集團有限公司
(一社)日本計量機器工業連合会	(株)藤村工業	ユニテール(株)	上海環城包裝製品有限公司
日本工業刃物(株)	(株)不二レーベル	(株)ユニバック	龍岩市晟禾貿易有限公司
／東京糧食機工業(協組)	不双産業(株)	(株)横浜自動機	廈門市聯農織帶飾品有限公司
／ベンチュリオン	／友和産業(株)	／キソー工業(株)	廈門市三磊包装材料有限公司
／(株)島田鉄工所	(株)フタバ	／(株)旭電熱製作所	廈門寬耀進出口有限公司
日本自働精機(株)	伏虎金属工業(株)	(株)ヨシダキカイ	廈門市萊思包裝製品有限公司
(一社)日本食品機械工業会	ブラザーインダストリアルプリンティング(株)	ラ	寧波碧林包装有限公司
日本製図器工業(株)	(株)プラスワンテクノ	(株)ラボ	雙色科技有限公司
(協組)日本製パン製菓機械工業会	(株)古川製作所	(株)ラヤマバック	雅新紙業有限公司
日本テクノロジソリューション(株)	／(株)ハイバック	(株)ランカー	成泰昌包裝製品(深圳)有限公司
(株)日本ピスコ	／(株)シンワ機械	理化工業(株)	CLOMA 展示コーナー
日本プッシュ(株)	PRECISION PLASTIC CO., LTD.	リコーテックビジョン(株)	稲畑産業(株)
(一社)日本粉体工業技術協会	Floeter Verpackungs-Service GmbH	リテック・ジャパン(株)	梅田真空包装(株)
(公社)日本包装技術協会	兵神装備(株)	レオン自動機(株)	(株)エフピコ
(株)日本包装リース	(株)平和化学工業所	(株)レザック	(株)GSIクレオス
日本ボールドウィン(株)	ベッコフオートメーション(株)	(株)ロゼッタ	(株)セブン&アイ・ホールディングス
(一社)日本ロボット工業会	ヘラマンタイトン(株)	ロパテックジャパン(株)	北村化学産業(株)
(株)NEW IWASHO	ポストティック・ニッタ(株)	ワ	(株)クラレ
／ダックエンジニアリング(株)	ホマッグジャパン(株)	ワイエイシイマシナリー(株)	クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス事務局
ニューロング(株)	POLYPAQ SDN. BHD.	(株)ワンウィル	大王製紙(株)
(株)ネクサスエアー	マ	中華区パピリオン	大黒工業(株)
ノードソン(株)	マーケム・イマージュ(株)	新碩達精機股份有限公司	大日本印刷(株)
(株)ノダ	(株)マイクロ・テクニカ	宿遷市金田塑业有限公司	凸版印刷(株)
のむら産業(株)	(株)前田シェルサービス	深圳市澳威包装制品有限公司	日本製紙(株)
／バックウェル(株)	マキー・エンジニアリング(株)	臨沂国森塑業有限公司	(公財)日本環境協会エコマーク事務局
ハ	(株)マキテック	東莞市華瑩包装有限公司	福助工業(株)
ハーマン・ウルトラソニック・ジャパン(株)	(株)マキノシーリング	三夏精機股份有限公司	(株)平和化学工業所
(株)パールパッケージ企画	(株)マシン・トレーディング	南星望膠廠有限公司	リンテック(株)
ハイウィン(株)	(株)マスタックマシナリー	珠海遠揚煒業科技有限公司	
(株)パイオニア風力機	(株)町田機械	武漢美奇斯機械設備有限公司	
／(株)サン・エンジニアリング	(有)マツタカキカイ	台州市維標彩印包裝有限公司	
萩原工業(株)	MARTINI TECH K.K.	廣東宝佳利綠印股份有限公司	
パシフィック洋行(株)	丸東産業(株)	造葆有限公司	
(株)バックプラス	(有)マンテック充填工業	力盛彩色印刷有限公司	
白光(株)	マンローランドゴスウエシステムズジャパン(株)	上海樂億塑料製品有限公司	
(株)ハナガタ	三浦工業(株)	地球綜合工業股份有限公司	
(株)花塚製作所	(株)美木多機械	東莞市致騰塑膠製品有限公司	

*五十音順

出展規定

JAPAN PACK 2022(以下、本展)の出展申込者(以下、出展者)は、本展主催者である一般社団法人日本包装機械工業会(以下、主催者)が定める『出展のご案内』ならびに『出展マニュアル』(2021年10月頃配布・公開予定)の全記載内容の順守を承諾したものとします。

1. 出展申込・契約／出展料

1-① 出展申込受付期間

- 01 出展申込受付期間は、原則として2020年12月4日(金)から2021年7月30日(金)までといたします。
- 02 出展申込受付期間中におきましても満小間になった時点で申込受付を締切らせていただきます。
- 03 出展申込期間を過ぎた2021年7月31日(土)以降におきましても、空き小間がある場合には出展申込を受け付けます。

1-② 出展申込方法および出展料の支払い

- 01  本展公式ウェブサイト内の[出展申込フォーム](<https://www.japanpackform.work>)に出展情報や担当者情報(1名のみ)等の必要事項を記入し、申し込み登録を行ってください。登録後に[出展申込書]のPDFデータを自動返信メール(office@japanpackform.work)に添付してお送りいたします。必ず保存してください。
- 02  ウェブ上の[出展申込フォーム]による申し込み登録が困難な場合は、『出展申込書』(本誌同封資料)に必要事項をご記入のうえ、主催者に電子メールにてご送付ください。なお、郵送およびFAXでの送付は受け付けておりませんのでご了承ください。
- 03 主催者は、出展者が[出展申込フォーム]に登録もしくは電子メールで送付した[出展申込書]の記載内容を確認のうえ、出展申込を受理いたします。
- 04 受理された[出展申込書]は、申込受理欄に受理年月日ならびに受理番号等が付され、出展者に返送されます。受理された[出展申込書]が主催者から出展申込者へ返送された時点で、出展申込が完了したものといたします。
- 05 主催者は、出展申込期間(2021年7月30日(金))までに申込登録を行った出展者に対しては、『出展申込書』を返送する際に、出展料の一部として出展申込金(1小間につき5万円)を請求いたします。出展者は、支払期日までに主催者指定の口座に出展申込金をご送金ください。同支払期日・主催者指定口座は請求書に記載されております。振込手数料は出展者をご負担ください。
- 06 出展料の総額から出展申込金を差し引いた残金は、2021年8月2日(月)より順次請求書を発行いたします。出展者は、支払期日までに主催者指定の口座に残金をご送金ください。同支払期日・主催者指定口座は請求書に記載されております。振込手数料は出展者をご負担ください。
- 07 出展申込期間を過ぎた2021年7月31日(土)以降に出展申込を登録し受理された出展者に対しては、前項に記載した出展申込金(1小間につき5万円)の請求を行わずに、出展料の総額にて請求書を発行いたします。
- 08 主催者が支払期日までに出展者からの出展申込金および出展料のご送金を確認できない場合、当該出展者の都合による出展申込取消とみなされ、項目1-④(出展申込の取消)の適用となります。

1-③ 出展料

01 1小間(2.97m×2.97m=8.82㎡)につき、下表の通りです。なお、当展開催期間(2022年2月15日(火)から2月18日(金))時点で一般社団法人日本包装機械工業会の正会員又は賛助会員の資格を有し、年会費の納入が完了している出展者には、正会員または賛助会員の出展料がそれぞれ適用されます。当該期間の途中で一般社団法人日本包装機械工業会の正会員または賛助会員から退会した場合、一般価格との差額を請求いたします。

所属区分	出展料(税抜)	所属区分	出展料(税抜)
①正会員	250,000円/小間	④団体	100,000円/小間
②賛助会員	290,000円/小間	⑤プレス	200,000円/小間
③一般	350,000円/小間		

- 02 出展料に含まれるものは、以下①～⑥の通りです。
 ①出展小間
 ②間仕切壁(隣接小間がある場合の背面・側面 ※システムパネル)
 ③1小間につき1.0kWまでの1次側電気幹線工事費
 ④共用施設の工事・維持費
 ⑤広告宣伝費(ポスター・案内状・ウェブ媒体等による当展全体の広報)
 ⑥展示会全般の企画・運営・管理費
- 03 出展料には下記の通り割引制度があります。ぜひご活用ください。
- | | |
|----------|--|
| ①早期出展割引 | 2021年4月30日(金)までの出展申込登録で、出展申込金相当額(1小間あたり5万円)の5% |
| ②大規模出展割引 | 35小間以上での出展申込登録で、出展申込金相当額(1小間あたり5万円)の5% |
- ※上記項目①と②は同時適用も可能です
- 04 割引制度が適用される場合、出展料の総額から出展申込金を差し引いた残金を請求する際(本規定「1-②-06」参照)に、当該割引金額を差し引いたうえで請求いたします。

1-④ 出展申込の取消

- 01 出展者の都合により出展申込のすべてまたは一部が取消された場合、出展者には次の解約料をお支払いいただくこととなります。なお、解約料は出展者から電子メール等双方が記録を確認できる形式での任意書面による出展申込取消通知を主催者が受理した期日を基準といたします。
 ■2020年12月4日(金)～2021年7月30日(金)
 当該出展申込金相当額(1小間あたり5万円)+消費税
 ■2021年7月31日(土)～9月30日(木)
 当該出展料総額の50%+出展申込金相当額(1小間あたり5万円)の消費税
 ■2021年10月1日(金)以降
 当該出展料総額の100%+出展申込金相当額(1小間あたり5万円)の消費税
- 02 出展申込取消に伴う解約料には、項目1-③(出展料)に記載の割引制度を適用いたしません。
- 03 出展者が出展料を主催者指定の口座に送金した後に、主催者に対して出展申込取消通知を行った場合、主催者は解約料との差額を精算いたします。
- 04 出展申込が取消された当該小間は、主催者が適切と考える方法で使用できる権利を有するものとします。
- 05 主催者は、本展の会期前および会期中における本出展規程違反または出展申込書への虚偽記載された出展者の出展申込/小間割当を取り消しできるものとします。また、本項目(出展申込の取消)により、当該者には解約料をお支払いいただけます。

1-⑤ 小間割当調査票

2021年8月頃、出展者の担当者に「小間割当調査票」を電子メールにて送付いたします。予定している使用設備(ガス・給排水・エアなど)の有無など、小間位置の決定に際して重要な参考資料となりますので、必ずご提出ください。

1-⑥ 出展小間位置の決定

- 01 出展者の小間位置は、出展製品、出展規模、過去の実績、申込順位、「小間割調査票」記載事項などを総合的に勘案のうえ、主催者により決定いたします。なお、出展者の小間位置は、出展者説明会(2021年10月開催予定)で発表のうえ、ウェブ媒体等で随時公開いたします。
- 02 主催者が決定した小間位置の移動および交換は原則としてできません。ただし、出展申込受付期間後に申し込みのあった新規出展者の追加、小間数の増減による変更に関してはその限りではありません。

1-⑦ 第三者への小間の貸与、転売の禁止

出展者は、有償無償にかかわらず、割り当てられた小間の一部または全部の、第三者への貸与・転売および出展者相互間での交換ができません。なお、主催者は、小間の一部または全部の第三者への貸与・転売および出展者相互間での交換を行われた出展者の小間割当を取り消しできるものとします。また、項目1-④(出展申込の取消)により、小間割当を取り消された当該出展者には解約料をお支払いいただけます。

2. 搬入出／展示装飾規定

2-① 出展製品等の搬入出および装飾施工／撤去

出展製品等の搬入出および装飾施工は、以下の主催者通知期間内にて行ってください。

施工・搬入:2022年2月12日(土)・14日(月)

搬出・撤去:2022年2月18日(金) 17:00-19日(土) 9:00

2-② 基礎小間および装飾規定

- 01 主催者は、基礎小間としてシステムパネルによる間仕切壁(背面・側面)と小間番号板を施工します。半島小間(ブロックおよび一部のダブル小間)の場合は隣接小間に接している面の間仕切壁と小間番号板のみとなります。隣接小間のない島小間(ブロック小間)の場合、間仕切壁は施工いたしません。
- 02 上記項目01以外の費用につきましては、すべて出展者のご負担となります。
- 03 基礎小間の高さは2.7mです。小間内装飾の高さは、隣接小間に接している面のみ1.0m内側にセットバックした範囲内で最高3.6mまでの装飾が可能です。通路に接している面はセットバックの必要はありません。ただし、出展者は装飾工事計画図面および必要書類を主催者指定基礎小間施工会社に提出し、主催者ならびに所轄消防署の許可を得ることが施工条件となります。なお、本規定は関係機関・団体等による各種ガイドラインを順守する形で変更する可能性があります。詳細は「出展マニュアル」(2021年10月頃配布・公開予定)をご確認ください。
- 04 会場全体の見通しおよび避難通路の確保のため、壁面開放規定(全面壁の禁止)を順守してください。通路から1m以内の範囲に、高さ1.2m以上の構造物(壁面・柱・展示台等)を設置する場合は、小間の一辺の長さの1/2までを施工可能範囲といたします。また、避難通路を必ず設けてください。
- 05 天井吊構造を用いた小間装飾はできません。詳細は「出展マニュアル」(2021年10月頃配布・公開予定)をご確認ください。

2-③ 火気・危険物の取扱い

展示会場内は裸火の使用、危険物の持込が禁止されています。これを解除する場合は所轄消防署長への届出、承認が必要です。また持込量は危険物の小間内レイアウトや隣接小間の状況などにより制限があります。指定数量を超える内蔵油を使用する機械の実演はできません。水素の持込みならびに使用した展示はできません。

2-④ 『出展マニュアル』記載規則の順守

本規定に記載のない事項については、『出展マニュアル』(2021年10月頃配布・公開予定)で規定する内容を順守してください。

3. その他出展に関する規定

3-① 個人情報収集を主目的とした出展の禁止と個人情報保護法の順守

ブース内において自社が取り扱う製品の展示や商品、サービスのPRをすることなく来場者の個人情報の収集を主目的とした出展を禁止します。また、来場者から個人情報を取得する際は、個人情報保護法の要件を満たしたうえでご対応ください。

3-② 製品デモ・プレゼンテーション

- 01 出展製品の実演や説明等につきましては、自社小間内でのみ可能です。自社小間内以外におきまして来場者の強引なブースへの誘導行為、出展製品の実演(デモンストレーション)や説明、パンフレット類の配布、来場者勧誘、物品の販売等は行えません。なお、出展製品の実演の際には、出展者は来場者への十分な安全対策を講じてください。
- 02 音響機材をご使用して出展製品の説明等を行われる場合には、近隣出展者の商談の妨げとならぬよう、以下①~④の条件をご遵守ください。
- ①小間正面から2.0mの距離で測定して、60デシベル以下の音量でご使用ください。
 - ②スピーカーを通路側以外へ向けてご設置ください。
 - ③来場者の客席および立ち位置を自社小間内に確保してください。
 - ④近隣出展者および来場者の商談等の妨げになると主催者が判断した場合には、当該出展者は主催者の指示に従ってください。

3-③ 試食・試飲

自社小間内の実演で生じた食品を試食に提供する場合は、所轄保健所への申請および手洗所設置等、承認条件の遵守が必要となります。なお、所轄保健所への申請は主催者が一括して行います。

3-④ 写真・ビデオ撮影や模写の禁止

当該出展者または主催者の許可を得ずに、同出展者の出展製品や造作物等の写真・ビデオ撮影や模写を行うことを禁止いたします。ただし、主催者が許可した公式記録撮影班(『公式記録撮影班』腕章着用)ならびに報道関係者(『報道関係者』腕章着用)が本展の会場全景および出展小間等の撮影を行う際は、可能な限りご協力をお願いいたします。

3-⑤ 知的財産権の保護・順守

出展者は、知的財産権(特許権・商標権等)の保護・順守に必要な措置を講じてください。

3-⑥ 損害責任

主催者は、本展全般の管理、運営、保全に最善の注意を払いますが、以下01~04の損害等につきましては、一切の責任を負わないものといたします。

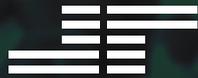
- 01 出展者またはその関係者が出展小間を使用することにより生じた人身・物品等に対する傷害・損害等。もしくは出展者またはその関係者の不注意により展示会場内およびその周辺で生じた人身・物品等に対する傷害・損害等。
- 02 主催者が自然災害・感染症・その他の不可抗力により開催を困難と判断し、本展を延期もしくは中止した場合に生じる出展者およびその関係者の損害、費用の増加、その他不利な事態等。
- 03 自然災害や交通機関の遅延・運休、社会不安等により生じる出展者およびその関係者の損害等。
- 04 本展に関するあらゆる媒体資料やデータなどに偶発的に生じた誤字・脱字等。

3-⑦ 開催の変更・中止

主催者は、会場およびその周辺において社会情勢もしくは自然災害・感染症・事故等により、施設上の諸問題が発生した場合など不可抗力により開催が不相当であると認められる場合は、本展会期を変更もしくは開催を中止することがあります。なお、原則として主催者は上記によって生じる一切の負担と責任を負わないものとします。ただし、国および自治体や会場から別途方針が示された場合につきましてはその限りではありません。

3-⑧ 諸規定等の変更・追加

主催者は、本展の諸規定等を変更することがあります。変更が生じた場合、主催者は速やかに出展者に通知いたします。



JAPAN PACK²⁰²²

一般社団法人日本包装機械工業会<JAPAN PACK 2022>運営事務局
104-0033 東京都中央区新川2-5-6 包装機械会館3階
TEL:03-6222-2277 FAX:03-6222-2280 E-mail:japanpack@jpmma.or.jp

www.japanpack.jp



JAPAN PACK 2022 「出展規定」：条文改定新旧対照表（発効日：2021年7月12日）

旧		新	
1. 出展申込・契約／出展料		1. 出展申込・契約／出展料	
1-①	出展申込受付期間	1-①	出展申込受付期間
01	出展申込受付期間は、原則として2020年12月4日(金)から2021年7月30日(金)までといたします。	01	出展申込受付期間は、原則として以下で定める日程といたします。 第1期申込期間：2020年12月4日(金)～2021年7月30日(金) 第2期申込期間：2021年7月31日(土)～2021年9月30日(木)
03	出展申込期間を過ぎた2021年7月31日(土)以降におきましても、空き小間がある場合には出展申込を受け付けます。	03	出展申込期間を過ぎた2021年10月1日(金)以降におきましても、空き小間がある場合には出展申込を受け付けます。
1-②	出展申込方法および出展料の支払い	1-②	出展申込方法および出展料の支払い
05	主催者は、出展申込期間（2021年7月30日(金)）までに申込登録を行った出展者に対しては、『出展申込書』を返送する際に、出展料の一部として出展申込金（1小間につき5万円）を請求いたします。出展者は、支払期日までに主催者指定の口座に出展申込金をご送金ください。同支払期日・主催者指定口座は請求書に記載されております。振込手数料は出展者をご負担ください。	05	主催者は、第1期出展申込期間（2021年7月30日(金)）までに申込登録を行った出展者に対しては、『出展申込書』を返送する際に、出展料の一部として出展申込金（1小間につき5万円）を請求いたします。出展者は、支払期日までに主催者指定の口座に出展申込金をご送金ください。同支払期日・主催者指定口座は請求書に記載されております。振込手数料は出展者をご負担ください。
07	出展申込期間を過ぎた2021年7月31日(土)以降に出展申込を登録し受理された出展者に対しては、前項で記載した出展申込金（1小間につき5万円）の請求を行わずに、出展料の総額にて請求書を発行いたします。	07	第2期出展申込期間の開始（2021年7月31日(土)）以降に出展申込を登録し受理された出展者に対しては、前項で記載した出展申込金（1小間につき5万円）の請求を行わずに、出展料の総額にて請求書を発行いたします。
1-④	出展申込の取消	1-④	出展申込の取消
01	出展者の都合により出展申込のすべてまたは一部が取消された場合、出展者には次の解約料をお支払いいただくこととなります。なお、解約料は出展者から電子メール等双方が記録を確認できる形式での任意書面による出展申込取消通知を主催者が受理した期日を基準といたします。 ■2020年12月4日(金)～2021年7月30日(金) 当該出展申込金相当額（1小間あたり5万円）＋消費税 ■2021年7月31日(土)～9月30日(木) 当該出展料総額の50%＋出展申込金相当額（1小間あたり5万円）の消費税 ■2021年10月1日(金)以降 当該出展料総額の100%＋出展申込金相当額（1小間あたり5万円）の消費税	01	出展者の都合により出展申込のすべてまたは一部が取消された場合、出展者には次の解約料をお支払いいただくこととなります。なお、解約料は出展者から電子メール等双方が記録を確認できる形式での任意書面による出展申込取消通知を主催者が受理した期日を基準といたします。 ■2020年12月4日（金）～2021年9月30日(木) 当該出展申込金相当額（1小間あたり5万円）＋消費税 ■2021年10月1日(金)～2021年11月30日(火) 当該出展料総額の50%＋出展申込金相当額（1小間あたり5万円）の消費税 ■2021年12月1日(水)以降 当該出展料総額の100%＋出展申込金相当額（1小間あたり5万円）の消費税
1-⑤	小間割調査票	1-⑤	小間割調査票
(なし)	2021年8月頃、出展者の担当者に『小間割調査票』を電子メールにて送付いたします。予定している使用設備（ガス・給排水・エアなど）の有無など、小間位置の決定に際して重要な参考資料となりますので、必ずご提出ください。	(なし)	2021年8月以降、出展者の担当者に『小間割調査票』を電子メールにて送付いたします。予定している使用設備（ガス・給排水・エアなど）の有無など、小間位置の決定に際して重要な参考資料となりますので、必ずご提出ください。

JAPAN PACK 2022 [出展規定]：条文改定新旧対照表（発効日：2021年7月12日）

旧			新		
3. その他出展に関する規定			3. その他出展に関する規定		
3-⑥	損害責任		3-⑥	損害責任	
	02	主催者が自然災害・感染症・その他の不可抗力により開催を困難と判断し、本展を延期もしくは中止した場合に生じる出展者およびその関係者の損害、費用の増加、その他不利な事態等。		02	主催者が自然災害・感染症・事故・施設における不測の事態・その他の不可抗力により開催を困難と判断し、本展の会期変更・延期もしくは中止した場合に生じる出展者およびその関係者の損害、費用の増加、その他不利な事態等。
3-⑦	開催の変更・中止		3-⑦	開催の変更・中止	
	(なし)	主催者は、会場およびその周辺において社会情勢もしくは自然災害・感染症・事故等により、施設上の諸問題が発生した場合など不可抗力により開催が不相当であると認められる場合は、本展会期を変更もしくは開催を中止することがあります。なお、原則として主催者は上記によって生じる一切の負担と責任を負わないものとします。ただし、国および自治体や会場から別途方針が示された場合につきましてはその限りではありません。		01	主催者は、以下のような状況が発生した場合には、本展会期を変更・延期もしくは開催を中止することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 会場およびその周辺において、自然災害・感染症・事故等が発生し、開催が不相当であると判断した場合 ■ 政府・自治体・施設のいずれかもしくはその全部から、本展開催に対する中止命令ないしそれに準じる要請があり、開催が不相当であると判断した場合 ■ その他、社会情勢や不可抗力事由により、開催が不相当であると判断した場合
	(新規)	(新規)		02	上記項目01により開催を中止した場合、お支払いいただいた出展料は、中止判断時点で必要経費を計算し、差し引いた残金から精算いたします。

本件に関するお問合せ先

一般社団法人日本包装機械工業会 <JAPAN PACK 2022>運営事務局
 所在地：東京都中央区新川2-5-6 包装機械会館3階（〒104-0033）
 電話：03-6222-2277 / E-mail：japanpack@jpmma.or.jp
 担当：大岩・佐藤・井上・阿部

JAPAN PACK 2022 出展申込みスケジュール：改定図 (発効日：2021/7/12)

一般社団法人日本包装機械工業会

〈JAPAN PACK 2022〉 運営事務局

	2021年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022年1月	2月	3月
全体予定						出展者説明会：10/19(火)午後・オンライン				施工搬入：2/12～2/14 会期：2/15～2/18 撤去搬出：2/18	
申込み期間 <現状>		出展申込み期間		2020/12/4(金)～2021/7/30(金)							
申込み期間 <改定>		第1期出展申込み期間		2020/12/4(金)～2021/7/30(金)	第2期出展申込み期間	2021/7/31(土)～2021/9/30(木)					
						※第1期出展申込み期間を締め切った時点で、小間割（ブースのレイアウト）作業を開始いたします ※第2期出展申込み期間が過ぎた後も、会場内に空きスペースがある場合は出展申込みを受付けます					
キャンセル料 <現状>		5万円/小間		2020/12/4(金)～2021/7/30(金)	出展料総額の50%	2021/7/31(土)～2021/9/30(木)				出展料総額 100%	2021/10/1(金)～
キャンセル料 <改定>		5万円/小間		2020/12/4(金)～2021/9/30(木)		出展料総額の50%	2021/10/1(金)～2021/11/30(火)			出展料総額 100%	2021/12/1(水)～